

3. 『鳥飼地域のまちづくりについて』

令和2年第4回12月議会一般質問 議事録

【質問 1回目】

3つ目に、「鳥飼地域のまちづくりについて」で御座います。

鳥飼地域に関しては、毎回、取り上げておりますが、先日の議会後も、2回目の地元懇談会が開催され、また、大経大の生徒による鳥飼活性化に向けた報告会も興味深く聞かせて頂きました。まずは、これらの進捗状況について、お聞かせ下さい。

以上、3点で御座います。

【答弁 1回目】

「鳥飼地域のまちづくり」についてのご質問にお答えいたします。

10月16日に開催しました地元懇談会以降の取組みでございますが、地元懇談会に加えまして、鳥飼地域で活動されている方々からご意見、ニーズ等を伺ってまいりました。摂津市商工会から推薦いただきました製造業、運輸業、卸小売業、不動産業、飲食業、教育学習支援業の事業所9か所、また、NPOで子育て支援や地域の活性化に取り組んでおられる子育て世代の方々8人、また、10月の1か月間、鳥飼保育所の親子広場にアンケート用紙を設置し、参加されている方々からご意見等をお聞かせいただいております。

9月から11月にかけては、大阪経済大学地域活性化支援センターと連携し、地域政策を学んでいる大学生による鳥飼地域の活性化に資する検討内容を報告いただいております。また、11月13日には第2回目の地元懇談会を開催させていただいております。

庁内におきましては、公共交通、子育て支援に関する分科会を開催し、関係課と住民ニーズの共有や具体的な施策等の検討を行っているところです。

【質問 2回目】

続きまして、3つ目の鳥飼地域のまちづくりについて、に移ります。

鳥飼プロジェクトの進捗状況についてお聞かせ頂きました。概ね理解致しました。

先日の地元懇談会において、「自分たちのまちは自分たちで作る」という前提で開催しているとのコンサルの発言があり、そういった意味でも、この地元懇談会は重要な位置付けであります。

参加者に関しては、メンバーを固定し、全3回で議論を深める狙いであったかと認識しておりますが、実際は、欠席者が数名おられ、メンバーも代わっていたと聞いております。

改めて、この地元懇談会の位置付けと、欠席者などへのフォローはどうされるのか？お聞かせ下さい。

3. 『鳥飼地域のまちづくりについて』

【答弁 2回目】

地元懇談会につきましては、鳥飼地区のグランドデザインを策定するうえで、直接、地域の方々からご意見等を伺うことのできる重要かつ貴重な場であり、人口減少、少子高齢化等に伴う地域の課題を認識・共有していただいた上で、意見交換等を行っているものです。

参加者は毎回同じ方に出席いただくよう、自治会、民生児童委員、青少年指導員、小学校PTAの各団体には依頼しておりました。しかしながら、一部、参加者が変わっていたところや当日欠席された方もおられましたので、懇談会終了後、速やかに資料をお届けしております。欠席された方に対しましては、次回の懇談会に支障がないよう、議事録ができしだい、お渡しさせていただく等、フォローをさせていただくこととしております。

【質問 3回目】

丁寧なフォローをお願い致します。

地元懇談会では、テーマを絞って議論を深掘りするよう、先日の議会においても要望させていただきましたが、参加者の方々に話を伺いますと、議論の方向性が見えない為、どんな意見を言えば良いのか分からず、雲を掴む様な議論であったとの声や、一方で、細かい論点にもなり、議論が発散し、先が見えないとの声も聞いております。

次回開催が最終回となる中、これらの参加者の声をどう認識されているのか？お聞かせ下さい。

【答弁 3回目】

第2回地元懇談会では、第1回目の懇談会でいただいたご意見や7月に実施した住民アンケート結果から想定される、まちづくりの方向性のイメージをお示しさせていただき、それらを基に、子ども、高齢化、防災、コミュニティ、交通、にぎわい等の各分野別にご意見をいただきました。

一部の分野で、ご意見が少し細かくなった点もございましたが、懇談会終了後に、参加者に内容に関する満足度を訊ねるアンケートを行い、18人中16人から回答を得て、「満足」との回答が4件、「どちらかという満足」が3件、「普通」が6件、「どちらかという不満足」が3件、「不満足」がゼロ件との結果でございました。

【質問 4回目】

議論を深掘りすべく、参加者の声をしっかりと捉えて頂きたいと考えております。

私は、より具体的な議論を展開させる為にも、これまで庁内やプロジェクトチームで検討・整理された課題や、まちづくりの方向性を示した上で、意見を抽出すべきと何度も申し入れて参りました。加えて、先日の懇談会においても、既に素案があるという話があったとも聞いております。

本年度末に、グランドデザインの叩き台が作られるというタイトなスケジュールの中、その素案やまちづくりの方向性を示し、具体的な議論を進めるべきと考えますが、見解をお聞かせ下さい。

【答弁 4回目】

第3回目の地元懇談会におきましては、住民アンケートの地域別・年齢層別の分析結果等の資料を各参加者に事前に配布し、鳥飼地域の課題等をより詳細にお伝えするとともに、これまでいただきました懇談会でのご意見、事業所等へのヒアリングの内容等を勘案した上で、グランドデザインについて具体的にイメージしていただくことができる内容をお示しし、それを基にご意見をいただく場としたいと考えております。

3. 『鳥飼地域のまちづくりについて』

【質問 5回目】

イメージを示して頂きまして、是非、具体的且つ、深掘りした議論をお願い致します。

一方で、鳥飼地域の事業所や若者世代、子育て世代などの団体からも意見を抽出する計画となっていました、その進捗と内容について、お聞かせ下さい。

【答弁 5回目】

地元懇談会以外にご意見等をいただく場として、事業所、子育て支援等に関するNPO、大学生に対するヒアリングを実施しております。

ヒアリングでは、事業所に対して、鳥飼地域での事業運営、地域活動への参画、地域貢献等に関する内容を伺っており、鳥飼地域での事業活動のメリットや自治会へ加入しているものの、事業所として地域活動等への参画に関する課題等をお聞きしております。

NPOで子育て支援や地域の活性化に取り組んでおられる鳥飼地域の子育て世代の方々からは、子育て支援のための施設、放課後の居場所づくり、学校の小規模化に関するメリット・デメリットや小中一貫校、教育のブランド化に対するニーズ等、また、地域に事業所が多いことを活かし、事業所の休業日や空きスペース等の有効活用に対するご意見をお聞きしております。

大学生からは、地域活性化に資する検討内容以外に、若者の新しい視点や市外在住者の客観的な視点から、鳥飼地域に対するご意見やどのような所であれば住みたいと考えるか等を聞いたところ、交通・生活の利便性、道路環境等に対する課題が挙げられております。

【質問 6回目】

概ね理解しました。

魅力ある鳥飼のまちを描く為には、地元の意見や、これからの若い世代や幅広い世代の意見を抽出すること、或いは、外部から見た客観的な意見や発想などを反映させることが重要と考えます。

抽出された意見や課題をランドデザインにどう反映させて行くのか？お考えをお聞かせ下さい。

【答弁 6回目】

地元懇談会におきましては、住民アンケート結果等をお示しし、その結果を掘り下げつつ、ご意見をいただくようにしております。

住民アンケート結果やそれに基づき地元懇談会でいただいたご意見、事業所等に対するヒアリング結果につきましては、課題への対応方針や具体的な施策等にできる限り反映できるよう考えてまいります。

3. 『鳥飼地域のまちづくりについて』

【質問 7回目】

魅力ある鳥飼まちづくりを実現するには、核となる河川防災ステーションの具現化や児童・生徒数の減少問題など、困難な課題を乗り越えて行かなければなりません。

ランドデザインの素案はもとより、抽出された意見や課題を庁内で共有し、練り上げる必要があると私は考えています。これからの庁内調整会議や分科会などの議題として頂き、また、議会でもしっかりと議論させて頂きたいと考えております。

最後に、市長にお伺いします。「持続可能な開発目標」として、国際的な目標に定められているSDGsには、17のゴールが定められ、その1つに「住み続けられるまちづくり」が挙げられます。

近隣他市では、門真市や豊中市が内閣府から「SDGs 未来都市」として選定され、2030年におけるまちあるべき姿の実現を、SDGsのゴールとして取り組まれています。

鳥飼まちづくりを全庁上げて、市民と協働で推し進める為には、本市も、これらの先進事例を参考に、SDGsの観点から取り組むべきと考えますが、そのお考えと、市長のまちづくりに対する想いをお聞かせ下さい。

【答弁 7回目】

市長答弁。内容割愛。

【要望】

協働のまちづくりを実現すべく、全庁一丸となって取り組むと共に、是非、地元の意見をしっかり受け止め、丁寧に対応して頂けますよう、お願い致します。

以上で質問を終わります。